

会計名 一般会計			文化協会育成事業				担当部	市民活動部			
款	項	目					担当課	文化観光課			
10	5	1					担当係	文化振興係			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	文化・芸術								
		施策の内容	活動の支援体制の充実								
	目的	芸術文化創造活動への市民の積極的な参加を促す。		主たる内容	様々な文化創造活動に取り組む市民が所属している刈谷文化協会の育成や刈谷をテーマとする文化事業「わたしの刈谷展」への支援を行う。						
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
			根拠法令								
		対象者	刈谷文化協会		事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷文化協会へ団体補助</li> <li>わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与</li> <li>刈谷城築城480年記念芸能発表会への事業補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷文化協会へ団体補助</li> <li>わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与</li> <li>西三文協美術展への事業補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷文化協会へ団体補助</li> <li>わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与</li> <li>県文連西三河部芸能大会への事業補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷文化協会へ団体補助</li> <li>わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与</li> </ul>			
成果		・多くの市民が参加する市民文化祭など市民の創作活動の発表の機会となる様々な事業が開催され、市民の文化振興に寄与した。 ・総合文化センターで開催された県文連西三河部芸能大会は、9市1町1地域の団体が出演して約1,800人の来場者があり、西三河地区で発表の機会が提供できた。 ・会員数が減少傾向であり、新規会員、特に若年層の会員を獲得していく必要がある。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標	団体会員数（人）			2,256	2,170	2,107	2,110	2,110			
指標											
他市との比較検証	・安城市 文化協会会員数 H26：1,704人、H27：1,703人／市人口 約18万人 ・知立市 文化協会会員数 H26：1,380人、H27：1,541人／市人口 約7万人 ・刈谷市 文化協会会員数 H26：2,170人、H27：2,107人／市人口 約14万5千人										
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳				
	事業費 ①		6,564	6,291	6,982	2,150	合計 6,981,750 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金 3,531,750 円				
		一般財源	6,564	6,291	6,982	2,150	報償費 200,000 円				
	職員人件費 ②		701	634	705	837	負担金、補助及び交付金 3,250,000 円				
	総事業費（①+②）		7,265	6,925	7,687	2,987					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称					
27年度までの累積事業費		0									
29年度以降の事業費見込		0									

会計名			文化協会育成事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	5	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	市民が5部門35部会に所属し、多様な文化芸術の創造活動に寄与している。部門ごとに市民文化祭を開催しており、他団体との交流も行われ、レベルアップに寄与している。わたしの刈谷展の開催により、郷土に対する愛着を高めることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	文化振興指導員が事務局をとりまとめており、事業運営や経理などが適正に行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	文化活動団体を取りまとめる文化協会を窓口に、市民の発表の機会づくりとして支援することは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	市民文化祭の他に県文連西三河部芸能大会を開催することで、市民が積極的に文化創造活動に関わる機会を設け、刈谷の文化振興に寄与した。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	・今後も活動を広げていくために、新規会員の獲得に向けた方策を検討する必要がある。				

会計名 一般会計			第九交響曲演奏会開催補助事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	5	1					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	文化・芸術						
			施策の内容	活動の支援体制の充実						
	目的		市民による創作活動への支援に加え、「音楽のあるまち 刈谷」としてのイメージアップを図る。		主たる内容		市制施行65周年記念として、公募による合唱団と市民を中心としたオーケストラによる第九交響曲演奏会の事業費に対して補助金を交付する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者				事業期間	平成27年度 ~ 平成27年度				
	実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
						第九交響曲演奏会 ・開催日 平成28年3月6日 ・場所 総合文化センター				
成果		・公募市民の合唱団約240名と、市民を中心としたオーケストラ84名により、市民による市民のための演奏会として、刈谷市の音楽振興に寄与することができた。								
課題		・これまで10年に一度開催しているが、その妥当性を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
成果指標		入場者数（人）			—	—	1,345	—	—	
活動指標										
他市との比較検証		安城市では、平成27年12月13日に3年ぶりに実施している。								
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	2,500	0	合計 2,500,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 2,500,000 円			
		一般財源	0	0	2,500	0				
	職員人件費 ②		0	0	705	0				
	総事業費（①+②）		0	0	3,205	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			<b>第九交響曲演奏会開催補助事業</b>	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	5	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	公募市民の合唱団と市民を中心としたオーケストラが、市民のために発表する場を提供することは必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	実行委員会としても券売に努めるなど、自費運営をする努力をしている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	文化振興基本計画に定める音楽のあるまちづくりの実現に向け、支援することは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	文化振興基本計画に定める音楽のあるまちづくりの実現の一助となっている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・ 今後とも周年事業として補助を行うべきか検討を行う。					

会計名 一般会計			文芸祭開催補助事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	5	1					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	活動の支援体制の充実							
	目的	市民から公募した短歌や俳句、川柳の作品を選考の上表彰し、発表を行う文芸祭の開催を支援することにより、市民の文芸への関心の向上と、創作意欲の高揚を図る。				主たる内容	市制施行65周年記念として、短歌、俳句、川柳による文芸祭の事業費に対して補助金を交付する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令							
		対象者	刈谷文化協会			事業期間	平成27年度 ~ 平成27年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		_____		_____		刈谷文芸祭 ・展示 平成28年2月9日～28日 ・場所 中央図書館		_____		
成果		・初めて小中高生を対象に短歌、俳句、川柳の募集を行ったが、多くの応募があり、広く市民に短歌、俳句、川柳に触れもらえる機会を提供できた。								
課題		・今後も定期的に開催していくことで、市民に文芸に触れる機会を提供できるが、文芸祭を開催するための基盤づくりが必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
成果指標	応募作品数（点）			—	—	12,000	—	—		
成果指標	応募者数（人）			—	—	7,000	—	—		
他市との比較検証	安城市では、文芸まつりを小中学生の部と一般の部に分けて実施している。									
C 事業コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	200	0	合計 200,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 200,000 円			
		一般財源	0	0	200	0				
	職員人件費 ②		0	0	705	0				
	総事業費（①+②）		0	0	905	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			<b>文芸祭開催補助事業</b>	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	5	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	小学生以上を対象とした事業であり、広く日本文化に触れる機会を提供していく意味においても、必要性がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	文化振興指導員が事務局を取りまとめており、事業運営や経理などが適正に行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	文化活動団体を取りまとめる文化協会を窓口にも、市民が文化に触れる機会を提供することを支援していくことは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	一般部門だけでなく、小学生から高校生まで広く作品を募集することで、市内の文化振興に寄与した。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・5年ごとに実施するなど、継続できる方法を検討していく。					

会計名			歴史博物館建設事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的	歴史、考古、民俗などに関する資料を収集し、貴重な文化的遺産の散逸を防ぎ、後世に残すとともに広く一般公開し、歴史研究の一助とする。 また、刈谷の祭りを紹介しながら実際に体験できる施設とし、親しみやすさと愛着、地域の魅力発信を兼ね備えた施設とすることを旨とする。			主たる内容	○26年度：建物・展示基本設計 ○27年度：建物基本設計（繰越） 建物・展示実施設計 ○28年度：建物・展示実施設計（繰越） 建物工事 展示・収蔵庫棚設置 ○30年度開館予定			
	位置づけ	関連計画	文化振興基本計画、歴史博物館基本計画						
		根拠法令	博物館法、公文書館法、文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成22年度～平成30年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・刈谷市歴史博物館建設計画検討委員会の開催（1回） ※「一般事務費事業」にて実施		・プロポーザルによる建物基本設計業者の選定 ・建物基本設計の作成 ・展示基本設計の作成 ・刈谷市歴史博物館建設委員会の開催（2回） ・文化庁ヒアリング（3回）		・建物基本設計の作成（繰越） ・建物、展示実施設計の作成 ・予定地ボーリング調査の実施 ・刈谷市歴史博物館建設委員会の開催（1回） ・文化庁ヒアリング（3回）		・建物、展示実施設計の作成（繰越） ・建物工事 ・展示・収蔵庫設置 ・刈谷市歴史博物館建設委員会の開催（1回） ・文化庁ヒアリング（3回）	
成果		・建物基本設計を作成した。 ・建物実施設計業者と展示実施設計業者を指名競争入札により選定した。 ・歴史博物館建設委員会を1回開催した他、有識者・関係団体へのヒアリングを適宜実施し、設計の参考にした。 ・公開承認施設を目指し、文化庁へのヒアリングを3回実施した。							
課題		・文化庁へのヒアリング結果を反映させるため、建物実施設計と展示実施設計の完成が28年度に繰越となった。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
		25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標	有識者や関係団体からなる委員会の開催数（回）	1	2	1	1	0			
活動指標									
	他市との比較検証	・県内の公開承認施設 7館 ・県内の登録博物館数 33館							
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		83	32,027	59,507	100,661	合計	59,507,174 円	
	財源	特定財源	0	0	0	13,300	報償費	59,220 円	
		一般財源	83	32,027	59,507	87,361	旅費	120,800 円	
	職員人件費 ②		701	5,068	5,641	7,377	委託料	59,327,154 円	
	総事業費（①+②）		784	37,095	65,148	108,038			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		3,855,661		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		100,145							
29年度以降の事業費見込		3,654,855							

会計名			歴史博物館建設事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	現在の郷土資料館は文化財の保存・展示施設としては規模・設備的に不十分であり建設の必要がある。公文書館・展示・埋蔵文化財センター・祭り会館の各機能を一体にした施設とすることで、資料保存と市内外への公開を両立させることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	建物実施設計・展示実施設計は、指名競争入札で設計業者を選定することで、コストを節減しつつ最適な業者を選定することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	市民の財産である文化財を多数保存する施設であることから、市が主体となるべき事業である。また市が主体となることで、設計に市民などの意見を取り入れることができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	市民が気軽に立ち寄れる歴史博物館を設計することで、郷土の歴史文化への興味を喚起することができる。また、公開承認施設を目指すことで、国宝や重要文化財を見学出来る機会を増やし、市民の歴史に対する関心に応えることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き利便性・機能性・コストに配慮した建物実施設計及び展示実施設計を行い、早期着工を目指す。</li> <li>公開承認施設を目指すため、引き続き文化庁等へのヒアリングを行い、設計に反映させる。</li> </ul>					



会計名			文化財保存整備事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	5	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	文化財の保護と整備を行い、史跡等を適切に管理する。また、文化財を啓発普及するため、「歴史の小径」の活用を図り、市内外へ向けて広報することで、文化財に対する興味関心を高める。	主たる内容	○史跡の維持管理及び樹木剪定等の管理 ○「歴史の小径」「椎の木屋敷跡」他のパンフレット等の改訂・印刷						
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	文化財保護法							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>椎の木屋敷跡他史跡管理</li> <li>椎の木屋敷跡門の修繕</li> <li>歴史の小径増刷</li> <li>文化財保護審議会委員県外研修（仙台市・東京都北区）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>椎の木屋敷跡他史跡管理</li> <li>歴史の小径増刷</li> <li>文化財保護審議会委員県外研修（大和郡山市・堺市・津市）</li> <li>歴史資料等の購入</li> <li>歴史啓発ポスターの作成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>椎の木屋敷跡他史跡管理</li> <li>歴史の小径増刷</li> <li>文化財保護審議会委員県外研修（富岡市・甘楽町・桐生市）</li> <li>歴史資料等の購入</li> <li>全国史跡整備市町村協議会参加</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>椎の木屋敷跡他史跡管理</li> <li>歴史の小径増刷</li> <li>文化財保護審議会委員県外研修（金沢市）</li> <li>歴史資料等の購入</li> <li>全国史跡整備市町村協議会参加</li> </ul>		
成果		・椎の木屋敷跡などの史跡の維持管理及び高木剪定等を実施し、良好な状態に保つことができた。								
課題		・文化財の啓発と周知を図るため、「歴史の小径」等パンフレットを更に活用するとともに、ガイドボランティアとの連携を一層活発化させていく必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		草刈・清掃等史跡管理回数（回）				12	12	12	12	12
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）				—	37.9	—	42.0	44.0
他市との比較検証		西尾市 草刈・清掃等史跡管理回数（4回程度／年）								
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		6,745	5,505	5,049	6,568	合計	5,049,310 円		
	財源	特定財源	7	7	7	17	旅費	160,830 円		
		一般財源	6,738	5,498	5,042	6,551	需用費	656,549 円		
	職員人件費 ②		1,613	704	783	532	役務費	158,730 円		
	総事業費（①+②）		8,358	6,209	5,832	7,100	委託料	4,007,664 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
29年度以降の事業費見込		0								
交付金				50,000 円						

会計名			文化財保存整備事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	文化財を保護保存し後世へ伝えていくこの事業は、文化財保護法に規定されている法的業務である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	史跡周辺の植栽管理のため、造園業者へ委託する。各種パンフレットは、印刷製本費のコスト削減を目指しホームページ上から閲覧・印刷できるようにしている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	文化財の適切な保護や保存には、専門的な知識を持つ学芸員や文化財保護審議会委員などの経験や知識が必要になる。文化財の散逸や劣化を防ぐため、一括管理できる市が主体となって行うのが最も望ましく妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	「歴史の小径」を活用し、文化財の啓発普及を図ることで、成果指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」を増加させていくことができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・文化財は、現在適切に管理しており、現状維持を目指す。文化財の啓発は、指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」が目標に達していないため、「歴史の小径」等のパンフレットの活用やガイドボランティアとの連携の強化を図る。					

会計名			国指定文化財保護増殖事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落の保護増殖を図るため、調査を含めた各種保護対策を実施し、植生を適切な状態に保つ。		主たる内容	○保存対策調査委員会において植生調査・保護対策を行う。 ○調査委員会の指導に基づき、小堤西池の水質水位の継続した調査を行う。 ○カキツバタ保護増殖のために池や東側丘陵地の除草や清掃等の業務を行う。 ○カキツバタ開花期における、駐車場案内等の警備や案内の業務を行う。				
	位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画						
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 22本		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 26本 被害木ラップ巻き 16本		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 15本		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 16本 ・カキツバタ遺伝子調査	
成果		・ナラ枯れ被害木の伐採により、東側丘陵地の森に光が入るようになった。 ・カキツバタ開花期には、以前に比べ開花エリアに広がりが出て、花の数も増えてきたと来場者より評価を得た。 ・小堤西池の水位について、文化庁及び保存対策調査委員会から意見を聞き、管理方法の適正化を図った。							
課題		・池の水源となる東側丘陵地に、その地下水を吸い上げてしまう竹が増殖しており、その速さが伐採処理を上回っているため、地下水の確保、水源の管理が課題となっている。 ・池及び東側丘陵地において外来種（動物・植物両方）が増加している。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		ボランティア参加数（人）		149	199	209	200	200	
成果指標		見学者数（人）		7,390	14,478	7,628	7,800	8,000	
他市との比較検証		・知立市「史跡八橋かきつばたまつり」見学者（平成27年 16万人程度）、保存会ボランティア参加数（平成27年 26人） ・豊橋市「葦毛湿原」保存会ボランティア参加数（平成27年 延べ633人 冬季30日間程度）							
C 事業コスト		単位：千円	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①	6,006	6,825	6,527	6,614	合計	6,527,266 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	90,000 円	
		一般財源	6,006	6,825	6,527	6,614	旅費	3,400 円	
	職員人件費 ②	1,964	1,971	2,507	2,434	需用費	420,400 円		
	総事業費（①+②）	7,970	8,796	9,034	9,048	委託料	6,013,466 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			国指定文化財保護増殖事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	文化財保護法において、国指定天然記念物の保護は法的業務である。 また、毎年5月の開花時期には多くの鑑賞者が訪れることから市民ニーズも高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	地元有志による守る会に委託する体制を取っており、直営で実施するよりもコストが節減でき、継続的かつ効果的な保護活動が可能である。市民協働の点からも手段は最適である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	国指定の文化財であるので、国、県との調整が必要であるとともに、調査委員会、守る会との連携も必要であるため、市が主体となって実施すべき事業である。また総合計画でも、カキツバタ群落の保存を掲げており、本事業の実施は妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	「小堤西池のカキツバタを守る会」等の市民が保護活動に主体的に関わることで、環境保護の意識向上に繋がっている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保存対策調査委員会による調査・研究の成果をカキツバタ群落の保護施策に反映するとともに、地域住民によって組織される守る会及びボランティアと一体となって保護事業を継続する。</li> <li>より多くの人に国指定天然記念物を見学していただくとともに、環境保護活動の意識向上が図れるよう、豊富な自然環境が維持されていることの啓発を今後も推進する。</li> <li>「小堤西池カキツバタ群落保存管理計画」に基づき、取り決めた各関係機関における体制・役割分担を守り、連携を強化していくことで、群落の保護保全に努めるとともに東側丘陵地の回復を図る。</li> <li>池の水源確保や外来種の増加に対しては、保存対策調査委員会や守る会と対策を協議していく。</li> </ul>					

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市内外の来館者に依佐美送信所の歴史と展示機器の機能や構造を学ぶ機会を提供し、無線通信への親しみと理解を深め、貴重な産業遺産としての価値を後世に伝える。			主たる内容	機器説明等、館内ガイド業務の実施			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成20年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・入館者数 30,849人 ・ボランティアガイド 130件 3,300人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・入館者数 32,255人 ・ボランティアガイド 114件 3,000人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・入館者数 37,924人 ・ボランティアガイド 132件 3,112人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・入館者数 約35,000人 ・ボランティアガイド 130件 3,150人	
成果		・記念館には無線通信に詳しい方もそうでない方も来館されるが、ガイドがあることでそのどちらにも対応することができ好評価を得ている。広報物等の取材、市内中学生の調べ学習にも対応した。 ・また県外からは、ツアー客を含め多くの来館者を集め、刈谷の魅力のアピールに繋げることができた。							
課題		・他市町村からのガイド依頼は一定数あるが、市内の方からのガイドの依頼数が減少傾向にある。 ・鉄道会社企画のウォーキングラリーやフローラルガーデンよさみでのイベントと、ガイドボランティアとの連携が課題である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		ガイドボランティア会員数（人）		46	43	45	45	47	
成果指標		ガイド申込者数（人）		3,300	3,000	3,112	3,150	3,200	
他市との比較検証		依佐美送信所記念館と同じく産業をテーマとしている豊田市産業とくらし発見館においては、ボランティアによるガイドは実施していない。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		464	170	243	145	合計	242,560 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	142,560 円	
		一般財源	464	170	243	145	委託料	100,000 円	
	職員人件費 ②		351	352	235	228			
	総事業費（①+②）		815	522	478	373			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	「依佐美の鉄塔」が建っていた当時を記憶している市民も多く、送信所でどのようなことが行われていたのかを説明することで、刈谷の歴史に対する理解を深める。ガイドボランティアと協働することで、地域からも愛される記念館運営となっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	ガイドボランティアの会に委託することで、最小コストによるガイド事業を実施している。ガイド事業の計画や反省もガイドボランティアの会自身が行っており、業者委託や直営よりも効率的な運営が行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	依佐美送信所記念館の施設管理は、指定管理者によって行われているが、ガイド事業は専門性が求められることから、指定管理者による運営は難しい。自主的に活動しているボランティアに対し、ガイドを委託する体制は有効である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	依佐美送信所記念館は、開館以来多くの賞を受賞している。そのため市外・県外からの来館者も多く、機械ではなく人による案内があることで刈谷の貴重な文化資源のPRが効果的に行われ、刈谷市の知名度向上に繋がっている。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	・現在は、依佐美送信所に詳しい方がボランティアとして在籍しているため、当時の記憶がガイドに活かされているが、解体から歳月が経つにつれ記憶が風化していくことから、資料化して伝えていくなどの取組が必要である。 ・平成29年度には開館から10年が経過するため、ハード面の再整備も部分的に必要となってきている。				

会計名			刈谷偉人伝作成事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史の啓発						
	目的	刈谷市にゆかりのある人物や祭りを広く市内外に紹介し、顕彰する。計画中である歴史博物館での活用や、小中学生の歴史教材としてなど様々な分野で、刈谷市の歴史文化や魅力をPRすることができる啓発促進手段の一つとする。	主たる内容	○刈谷偉人伝の作成 ○刈谷偉人小伝の作成 ○刈谷偉人伝紙芝居の作成 ○刈谷の祭り映像の作成					
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画、刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成20年度～平成29年度				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・第5作目『刈谷に夢をかけた豊田佐吉と喜一郎』作成 ・『森銃三と森三郎兄弟』の頒布開始 ・『初代刈谷藩主水野勝成物語』の増版		・第6作目『徳川家康の生母・於大』作成 ・『刈谷に夢をかけた豊田佐吉と喜一郎』の頒布開始 ・『フェライトの父加藤与五郎』と『刈谷に夢をかけた豊田佐吉と喜一郎』の増版 ・『水野勝成物語』の紙芝居作成		・『徳川家康の生母・於大』の頒布開始及び増版 ・偉人小伝『松平定政』『大中筆』の作成 ・『豊田佐吉と喜一郎』の紙芝居の作成		・偉人小伝『三家老事件』『大野定、介蔵、一造』の作成 ・『徳川家康の生母・於大』の紙芝居の作成 ・刈谷の祭り映像の作成	
成果		・紙芝居を幼稚園・保育園、小学校等に配付した結果、子どもたちに刈谷の偉人について広く伝えることができた。 ・総合式典で広く紹介するとともに、庁舎や総合文化センターなど集客のある施設やYouTube、市内外のイベントでダイジェスト版を放映するなどPRしたことで、市内外からの問い合わせが増加した。 ・刈谷偉人小伝を2作品作成することにより、平成30年度に開館予定の博物館に向け展示、準備を整えることができた。							
課題		・これまで作成した6作品の販売数が伸び悩んでおり、今後更に市内外に刈谷の偉人を啓発していくうえでの検討課題である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
成果指標		頒布部数（部）		278	512	159	100	100	
活動指標		刈谷のPRのため、DVDを会議等の場での活用・広報した回数（回）		25	28	11	10	10	
他市との比較検証		・郷土の偉人・文化人等を紹介するアニメDVDを作成している近隣市として、その事業実施方法、レベル及び作成費用等を検証し、参考とした。 ・検証先・・・豊田市視聴覚ライブラリー『とよたの人物記』							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		6,544	7,760	4,333	10,787	合計	4,332,512 円	
	財源	特定財源	219	406	4,159	100	需用費	622,512 円	
		一般財源	6,325	7,354	174	10,687	委託料	3,710,000 円	
	職員人件費 ②		2,104	2,041	2,037	2,281			
	総事業費（①+②）		8,648	9,801	6,370	13,068			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入 地域活性化・地域住民生活等 緊急支援交付金（国）					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷偉人伝作成事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	<p>「歴史の小径」などの配布数を見ても、郷土の歴史に対する関心は高く、郷土の偉人を顕彰する事業はニーズがある。</p> <p>小中学校に配付し教育的利用を促すことで、郷土学習にも役立っている。</p>
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	<p>偉人小伝は2作品を同時進行で作成することで、取材・撮影・音入れ等にかかるコストや時間を節減することができた。</p>
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	<p>市で著作権を持ち、小中学校に積極的な活用を促すことにより、教育的効果が期待できる。</p> <p>郷土の歴史に対する認知度の向上のため、図書館等の施設でのDVDの公開・貸出や市の行事等に活用することで普及を図ることができる。</p>
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	<p>平成27年度は、偉人伝再生機の設置など刈谷の魅力発信事業関連の各種イベント等で上映し、幅広い世代の市民の目に触れる機会を創出した。</p> <p>郷土の偉人を通して歴史文化を啓発することで、郷土愛の育成に寄与することができた。</p>
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<p>・刈谷偉人伝映像は全巻販売を行って郷土の歴史・文化の啓発促進を図るほか、刈谷の祭映像を作成し、平成30年度開館予定の歴史博物館のデジタルミュージアムでの活用など、歴史博物館での利用を考えていく。</p> <p>・全6作品を作成する刈谷偉人小伝では、平成28年度に『三家老事件』『大野定、介蔵、一造』の2作品を作成し、刈谷偉人伝同様に歴史博物館での利用を考えていく。</p> <p>・刈谷偉人伝DVDの『徳川家康の生母・於大』を紙芝居で作成し、市内幼稚園・保育園、小学校等に配付し、幼少期からの郷土愛の育成を図る。</p>					



会計名			刈谷の魅力発信事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
2	1	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史の啓発						
	目的	刈谷が持つ地域資源の魅力を市内外へ発信し、住みたい、住み続けたい、訪れてみたいまちを目指し、定住人口の増加へ繋げる。		主たる内容	○東吉野村ウォーキング 刈谷市民が、東吉野村内の天誅組に関する史跡をたどる。 ○刈谷市史跡めぐり 東吉野村民が、刈谷城及び刈谷市内の天誅組に関する史跡をたどる。 ○歴史文化のPR 刈谷の歴史文化を紹介するPRブースを運営する。				
	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令	文化芸術振興基本法							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成26年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		—		<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史スタンプラリーの開催</li> <li>PR用物品の作製、活用</li> <li>イベントへの出展（ブース出展回数 7回）</li> <li>キャッチフレーズの制定、PRのぼり作製・設置</li> <li>歴史の小径冊子の作製・配付</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史ガイドブックの作製</li> <li>PR用物品の作製、活用</li> <li>PRブースの出展（ブース出展回数 7回）</li> <li>刈谷市史跡めぐりの開催（参加者数 34人）</li> <li>偉人伝再生機の設置（4箇所）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>PRブースの出展</li> <li>東吉野村ウォーキングの開催</li> </ul>	
成果		・主要なイベントでPRブースを出展し、啓発グッズを配布することで、市外の人たちにも刈谷の歴史や文化をPRできた。 ・刈谷市史跡めぐりを開催することで、参加者の東吉野村民に刈谷の歴史についてPRするとともに、両市村の友好市町村としての結びつきを再認識してもらうことができた。							
課題		・東吉野村では参加者の募集に苦慮したようであり、今後事業の実施方法などについて検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標	PRブース出展回数（回）		—	7	7	7	7		
成果指標	刈谷の歴史に興味をもっている市民の割合（％）		—	37.9	—	42.0	44.0		
C 事業コスト	他市との比較検証	築城と郷土の歴史や文化の啓発を目的とした事業 ・織田信長公小牧山城築城450年（愛知県小牧市 平成24年度～25年度で実施） ・佐倉・城下町400年記念事業（千葉県佐倉市 平成22年度～29年度で実施）							
	単位：千円	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
財源	事業費①	0	3,810	8,630	5,684	合計 8,629,862 円			
	特定財源	0	0	4,644	0	需用費 62,310 円			
	一般財源		0	3,810	3,986	5,684	役務費 18,704 円		
							委託料 3,864,780 円		
	職員人件費②	0	5,068	5,288	4,715	備品購入費 4,644,000 円			
	総事業費（①+②）	0	8,878	13,918	10,399	負担金、補助及び交付金 40,068 円			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
	27年度までの累積事業費		0		地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（国）				
	29年度以降の事業費見込		0						

会計名			刈谷の魅力発信事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
2	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	刈谷の魅力的な歴史文化を啓発することで、市民に郷土の歴史に誇りをもってもらい、刈谷に住み続けたいという気持ちの醸成を図ることが出来た。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	PRブース用ミニゲームを組み立て式で作製し持ち運びしやすくすることで、様々な場所でブース出展ができるようにするなど、使いやすさを重視した。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	本市に残されている歴史的な文化財を後世に継承するため、市が主体となって歴史文化に関するPRをすることは重要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	歴史文化を継承するうえで、ゆかりの自治体との交流も重要であり、刈谷城や天誅組等に対する市民の認知度も高まっている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・ 今後、歴史博物館や亀城公園再整備にあわせた歴史的建造物の建設に向けて、刈谷市の歴史文化を一層PRしていく。					

会計名 一般会計			刈谷歴史検定事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	5	1					担当係	文化振興係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史の啓発						
	目的	本市の歴史についての検定を行うことで、市民が郷土の歴史を学ぶことへの意欲向上を図る。		主たる内容	市制施行65周年記念として、刈谷の歴史をテーマとした検定を開催する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成27年度 ~ 平成27年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		_____		_____		・開催日 平成27年12月13日 ・開催場所 総合文化センター		_____	
成果		・参加者の65%が機会があればまた受験したいと回答しており、市民が刈谷の歴史を学ぶきっかけとすることができた。							
課題		・受験料を無料としたが当初の想定より申込者数が伸び悩んだ。							
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
成果指標	検定受験者数（人）		25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標			—	—	34	—	—		
他市との比較検証	刈谷の歴史に絞った事業であるため、他市で開催している検定とは比較が困難である。								
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	265	0	合計	265,344 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	50,000 円	
		一般財源	0	0	265	0	需用費	160,164 円	
	職員人件費 ②		0	0	1,645	0	役務費	41,580 円	
	総事業費（①+②）		0	0	1,910	0	使用料及び賃借料	13,600 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷歴史検定事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	5	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	本事業を実施することで、市民が刈谷の歴史について学び、再認識するきっかけ作りとなり、郷土愛の醸成につながった。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	歴史の小径などの既存の資料を事前配付資料として活用することにより、コストを削減することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	本事業を実施することで、総合計画で掲げている歴史の啓発を推進することができた。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	歴史に興味関心のある市民にとっての意欲向上の機会となった。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
・単年度事業として実施したが、将来的には再度開催することも検討していく。					

会計名			観光PR施設管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	刈谷市及び衣浦定住自立圏域市町の観光情報発信拠点として、刈谷ハイウェイオアシス内にあるオアシス館刈谷を充実させる。 また、刈谷駅前観光案内所においては、観光客やビジネス客への総合的な案内と観光情報の紹介、自転車の無料レンタル等を行い、本市をPRするとともに、観光客の増加を図る。	主たる内容	オアシス館刈谷の展示物品の変更や修繕及び管理を行う。 刈谷駅前観光案内所の管理を行う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成16年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・PC、映像機器等修繕		・展示用器具修繕 ・観光案内所仮設建物借上		・展示用器具修繕 ・観光案内所仮設建物借上		・展示用器具修繕 ・観光案内所仮設建物借上	
成果		・オアシス館刈谷の管理を適正に実施することにより、刈谷ハイウェイオアシスの多くの人に対し、刈谷市を含む衣浦定住自立圏域市町の観光情報を積極的に発信することができた。 ・刈谷駅北口広場に観光案内所を設置し、市内及び定住自立圏域の観光案内、みやげ品の販売、レンタサイクル及び超小型EVの貸し出しサービス等を提供することができた。							
課題		・オアシス館刈谷は多くの来場者に対し効果的な情報発信を行うためにも、定期的なりリニューアルが必要である。 ・観光案内所はより充実した情報発信やサービスの提供を行うため、仮設建物での運用の見直しを検討する必要がある。							
他市との比較検証		・他市に類似の施設がないため比較できない。 ・近隣市では、岡崎市、西尾市、安城市、高浜市が観光案内所を設置している。							
C 事業 コスト	単位：千円	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	27年度 事業費内訳			
	事業費 ①	119	4,388	771	1,076	合計	770,580 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	101,844 円	
		一般財源	119	4,388	771	1,076	使用料及び賃借料	668,736 円	
	職員人件費 ②	701	1,056	1,959	2,662				
	総事業費 (①+②)	820	5,444	2,730	3,738				
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)	0			27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			観光PR施設管理事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>	高い	刈谷ハイウェイオアシスは、市内外から多くの観光客が訪れることから、オアシス館刈谷の展示内容の充実、衣浦定住自立圏域市町の情報発信に寄与し、観光振興のために必要である。また、乗降客数の多い刈谷駅前でおもてなしを行う観光案内所も同様である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>	普通	施設の管理運営を刈谷ハイウェイオアシス内で一括して行うことにより、事業運営と展示内容の更新等をそれぞれ効率的に実施できる体制が整っている。 また、観光案内所は、観光協会と役割を分担して取り組むことにより最適な設置・運営体制を実現している。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>	高い	地域の活性化のためには、観光振興が必要であり、市全体の魅力を発信するための環境整備は、行政がその役割を果たすことが妥当である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>	高い	オアシス館刈谷は県内有数の観光客数を誇る刈谷ハイウェイオアシス内という立地により、広く効果的に情報発信を行うことができ、施策に貢献している。 また、乗降客数の多い刈谷駅前情報発信等に取り組む観光案内所も同様である。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・衣浦定住自立圏域市町と連携し、オアシス館刈谷を積極的に活用するとともに、効果的な情報発信のため、オアシス館刈谷の展示内容の充実及び定期的な更新を行う。 ・本市の玄関口である刈谷駅周辺において、観光客やビジネス客等を温かくもてなし、快適に過ごしてもらえるサービスを提供するとともに、集約される観光情報等を有効活用して、本市の魅力を発信するため、引き続き観光案内所を運営する。					

会計名			観光協会補助事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	刈谷市観光協会への補助を通し、観光資源の発掘やPR、祭りやイベントを開催し、観光の振興による市の活性化を目指す。	主たる内容	刈谷市観光協会が行う観光事業の経費を補助する。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	刈谷市観光協会	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業 D実績 O実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・主催、共催事業 桜まつり、大名行列・山車祭、万燈祭、わんさか祭り、KARIYA洲原音楽祭、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展		・主催、共催事業 桜まつり、万燈祭、わんさか祭り、きぬうら☆うら音楽祭、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展 ・観光案内所運営		・主催、共催事業 桜まつり、大名行列・山車祭、万燈祭、わんさか祭り、きぬうら☆うら音楽祭、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展 ・観光案内所運営		・主催、共催事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展 ・観光案内所運営	
成果		平成10年3月に刈谷市観光協会が発足して以来、祭りやイベントの実施機関として大きな役割を果たしている。							
課題		・祭りやイベントの実施機関としての役割だけでなく、今後は観光資源の発掘やPRの面でも推進する必要がある。 ・各種関連団体との連携を強化するとともに、役割の明確化を図る必要がある。							
O実績 V	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
	成果指標	主催・共催事業来場者数（人）			409,590	382,138	424,004	370,000	400,000
他市との比較検証	観光協会が主催するイベントの多さから、補助金額が県内他市町村に比較して多くなっている。								
C事業 コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		85,626	113,501	124,003	124,368	合計 124,003,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 124,003,000円		
		一般財源	85,626	113,501	124,003	124,368			
	職員人件費②		1,403	2,816	3,917	4,563			
	総事業費（①+②）		87,029	116,317	127,920	128,931			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			観光協会補助事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	観光事業は、各種関連団体と連携し、祭りやイベントを開催することにより、市の活性化に貢献している。また、観光客及び市民が満足する観光ガイド活動や市の魅力を十分に伝える情報発信の手段を担っているため、本事業は必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	会員の増員など、あらゆる面で観光協会の自主財源確保の施策が必要とされる。総支出額に占める、イベント事業費の割合が高く、内容・効率性の見直しを検討するとともに、観光客や市民の視点から実施計画を改善していく必要がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	観光協会は地域の特性にあった事業及び伝統的事業を展開することで、刈谷市の観光振興に貢献しており、事業の円滑な実施にあたり、行政の協力が必要不可欠である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	観光振興や知名度を向上させ、観光客の誘客に必要なイベントの開催・情報発信に寄与することで、市民の郷土愛を高める効果がある。また、観光を推進することで、文化の向上、産業・経済の発展、活気あるまちづくりに寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
	・市や各種関連団体と観光協会との役割分担を明確にしながら、観光協会の機能の強化に取り組む。				



会計名		わんさか祭り花火打ち上げ事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	文化観光課		
款	項					目	担当係	観光係	
7	1					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	わんさか祭り花火大会において、市内企業及び市民からの協賛金に合わせ、本市も花火の打ち上げを行うことにより、花火大会の魅力を上させ、市民へ娯楽を提供するとともに、観光の振興を目指す。	主たる内容	メロディ花火を中心とした花火を打ち上げる。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月17日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月16日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 市制65周年仕掛文字花火 開催日：8月15日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月20日 発数：約7,000発（全体）	
成果		・同規模の近隣市町村と比較しても誇ることのできる花火大会となっている。 ・市内で開催されるイベントで最も集客力を持つイベントとなっている。							
課題		・大勢の観客が来場することから、会場周辺での交通渋滞や迷惑駐車が大きな問題となっている。 ・限られた会場内に来場者が集中してしまう。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度
	成果指標	来場者数（人）			150,000	150,000	153,000	150,000	150,000
	指標								
他市との比較検証	近隣では、岡崎市、豊田市、碧南市（半田市と共催）、西尾市、みよし市等で花火大会が開催されている。								
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		10,000	10,000	12,000	10,000	合計	12,000,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	12,000,000 円	
		一般財源	10,000	10,000	12,000	10,000			
	職員人件費 ②		1,052	1,056	1,567	1,521			
	総事業費（①+②）		11,052	11,056	13,567	11,521			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			わんさか祭り花火打ち上げ事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	同規模の近隣市町村と比較しても誇ることもできる花火大会であり、観光イベントの中でも1番の集客力を持つ。夏の風物詩として定着しており、市民のニーズは高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	市の予算だけでなく、商工会議所と連携し、法人や個人から協賛を募っており、市をあげての花火大会となっている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	夏の風物詩としての市民の期待は大きく、協賛金と合わせ実施しており、実施は妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	他市町村からも多くの観客が来場し、観光振興につながっている。会場では地元の出店ブースもあり、花火大会実施による地元への経済効果を高めることに寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> <li>誘客力の高いイベントであるため、会場周辺での交通渋滞や迷惑駐車への解消に努める。</li> <li>限られた会場内に来場者が集中することから、安全性の確保のため、イベントの構成を再検討する。</li> </ul>					

会計名			刈谷の魅力発信事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
2	1	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	刈谷が持つ地域資源の魅力を生市内外へ発信し、住みたい、住み続けたい、訪れてみたいまちを目指し、定住人口の増加へ繋げる。			主たる内容	刈谷藩歴代藩主の9家（水野本家・水野分家・深溝松平家・久松松平家・稲垣家・阿部家・本多家・三浦家・土井家）の初代藩主等による武将隊が、市内外の各種行事の出演に合わせた人員・演出により、甲冑を着用したパフォーマンスを行い、イベント及び築城の機運を盛り上げる。				
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成25年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		刈谷城築城盛上げ隊出演回数 27回		刈谷城築城盛上げ隊出演回数 29回		刈谷城築城盛上げ隊出演回数 39回		刈谷城盛上げ隊出演回数 35回		
※「刈谷城築城480年記念事業」にて実施										
成果		・市内の各種行事に参加し、刈谷市の魅力や歴史、文化を多くの人に情報発信することができた。 ・刈谷城築城盛上げ隊を通して、子ども達や刈谷城に興味関心の低かった人にも目を向けてもらい、刈谷城復元に向けた機運向上に貢献した。								
課題		・次年度以降も継続性をもって事業を実施し、刈谷城の復元について、より多くの市民の理解を得る必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標	刈谷城盛上げ隊出演回数（回）				27	29	39	35	35	
指標										
他市との比較検証	他市において武将隊は、プロダクションなどに委託しアクターを採用しているが、本市においてはボランティアを採用し幅広い人材を確保している。									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①		6,881	4,796	4,943	5,684	合計	4,942,875 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	4,849,555 円		
		一般財源	6,881	4,796	4,943	5,684	備品購入費	93,320 円		
	職員人件費②		0	2,112	3,134	3,802				
	総事業費（①+②）		6,881	6,908	8,077	9,486				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費			0							
29年度以降の事業費見込			0							

会計名			刈谷の魅力発信事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
2	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	歴史文化を啓発することで、市民に郷土の歴史文化に誇りを持ってもらい、地域の活性化を図る一助とする。 現在は県内外の他自治体においても、武将隊をはじめ歴史文化の啓発事業が盛んであり、社会需要は存在する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	事業を委託することで効率化を図った。 また、刈谷城築城盛上げ隊の隊員にボランティアを採用することで幅広い人材を確保することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	事業を通じて、総合計画にある「まちの歴史に対する認知度を高める必要」に応えることができる。 市が関わって実施することで、市民と協働する形で事業を推進することができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	各種イベントにおいて演武等を披露することで、市民が気軽に歴史文化に親しむことのできる街であることをアピールすることができるため、施策への貢献度は高い。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
・本市の歴史文化を市民に伝えるとともに、刈谷城復元に向け機運を高め、より多くの市民の理解を得る必要があるため、継続性をもって事業を実施する。					

会計名			広域観光情報システム推進事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	広域な観光情報システムを構築することにより、個人旅行に合わせた観光客の自由な周遊計画の作成支援及び地域の埋もれた魅力の発信を行うとともに、観光情報発信力の強化及び観光客の利便性を向上させ、刈谷市の観光の活性化を目指す。	主たる内容	地域クラウド型サービスを西三河9市1町の自治体で共同で導入し、観光HP等で利用する。 ○地域クラウド型サービス 旅行者がパソコンやスマートフォンを使い、観光情報サイトから行きたい観光スポットを選ぶことにより、車での最適な周遊ルートが自動設定され、観光ルートとしてパソコンやスマートフォンの電子地図上に表示されるシステム。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	西三河広域観光推進協議会規約						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成27年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	DO 実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
						・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の開設		・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実	
成果		・西三河9市1町で西三河広域観光推進協議会を発足させ、公式サイト「西三河ぐるっとナビ」を開設することにより、個人旅行者の増加に伴うより自由な観光ルートや地域でのふれあいの発見など、さまざまな観光資源をつなぐ、きめ細かな情報発信を行う体制を整えた。							
課題		・情報発信サイトのより一層のPRを行い、認知度の向上及び利用促進に取り組む必要がある。 ・毎年新しい企画を立案するとともに、継続して情報発信等に取り組むため、各市町が単独で取り組んでいた既存の手法との整理・統合が必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
成果指標		ホームページアクセス数（件）		—	—	—	50,000	60,000	
指標									
他市との比較検証		近隣市町で共同で実施する事業であるため、他市と比較できない。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	709	290	合計		708,912円
	財源	特定財源	0	0	224	0	負担金、補助及び交付金		708,912円
		一般財源	0	0	485	290			
	職員人件費②		0	0	1,175	760			
	総事業費（①+②）		0	0	1,884	1,050			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0		その他の雑入			
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			広域観光情報システム推進事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	個人旅行者の増加に伴い、より自由な観光ルートや地域でのふれあいの発見など、さまざまな観光資源をつなぐ、きめ細かな情報発信を行うため、上記の機能を備えた広域での新たな情報発信サイトが必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	観光情報発信サイトを広域で持つことにより、各市町が単独で行う場合と比較して、効果的に情報発信を行うことができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	観光資源の異なる他市町と円滑に連携を行うため、自治体同士で事業を推進することが必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	広域的な情報発信サイトを作成することにより、相互に観光資源をつなぐなど相乗効果が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信サイトのより一層のPRを行い、認知度の向上及び利用促進に取り組む。</li> <li>協議会の形骸化を避けるため、毎年新しい企画を立案するとともに、継続して情報発信等に取り組むため、各市町が単独で取り組んでいた既存の手法との整理・統合を行う。</li> </ul>					

会計名 一般会計			観光用倉庫整備事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
7	1	2					担当係	観光係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	万燈、山車、大名行列資材、観光協会備品などの収納場所を整備し、伝統行事の継承、発展を目指す。	主たる内容	○第二観光用倉庫の建設 構造規模：鉄骨造平屋建て 建築面積：195.5㎡ その他：外構工事 ○銀座万燈製作場等の設計						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市観光推進基本計画						
	根拠法令									
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成27年度～平成28年度					
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		—		—		<ul style="list-style-type: none"> <li>第二観光用倉庫の設計</li> <li>第二観光用倉庫の建設</li> <li>銀座万燈製作場の設計</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>銀座万燈製作場の建設</li> <li>旧銀座万燈製作場の解体</li> </ul>		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>第二観光用倉庫を設計・建設した。</li> <li>銀座万燈製作場を設計した。</li> </ul>								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		設計進捗率（％）			—	—	100.0	—	—	
活動指標		工事進捗率（％）			—	—	50.0	100.0	—	
他市との比較検証		祭事道具の所有権、大きさの違いなどから他市と単純に比較することは難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	46,740	26,200	合計	46,740,024円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	5,924,340円		
		一般財源	0	0	46,740	26,200	工事請負費	40,751,964円		
	職員人件費②		0	0	3,134	2,281	負担金、補助及び交付金	63,720円		
	総事業費（①+②）		0	0	49,874	28,481				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			担当部	市民活動部	
一般会計			担当課	文化観光課	
款	項	目	担当係	観光係	
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	県指定無形民俗文化財である万燈祭の「万燈」及び市指定有形民俗文化財である「山車」の保存・継承に取り組むにあたり、双方ともサイズが大きく、修繕等、適切に維持管理を行って良好な状態に保つ必要あるあるが、現在の倉庫では手狭であるため、新たな倉庫が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	文化財の保存・継承に必要な範囲で、事業を実施している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市の所有する財産を文化財の保存・継承に活用し、行政が適切に支援を実施することにより、市全体の文化や観光の振興に寄与することができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	万燈祭、山車祭等の伝統文化の保存・継承に寄与し、観光事業を推進する重要な事業である。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
・ 設計を行った銀座万燈製作場を建設するとともに、旧銀座万燈製作場は解体する。					



会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	5	10					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	生涯学習						
			施策の内容	学習機会の充実						
	目的		市民に憩いの場を提供し、福祉の増進を図る。		主たる内容	○十朋亭の受付等業務委託 ○十朋亭の施設、設備修繕				
	位置づけ		関連計画							
			根拠法令	刈谷市十朋亭条例・刈谷市十朋亭条例施行規則						
	対象者		対象者を限定せず		事業期間	昭和47年度～				
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付等業務委託</li> <li>冷暖房設備保守業務委託</li> <li>消防用設備保守管理委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付等業務委託</li> <li>冷暖房設備保守業務委託</li> <li>消防用設備保守管理委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付等業務委託</li> <li>冷暖房設備保守業務委託</li> <li>消防用設備保守管理委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付等業務委託</li> <li>冷暖房設備保守業務委託</li> <li>消防用設備保守管理委託</li> </ul>		
成果		・年代を問わず、四季を通じて会合、レクリエーション、休憩等で多くの方の利用に供し、住民の福祉の増進を図った。								
課題		・亀城公園再整備計画の中で、一体的に施設のあり方を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
成果指標		十朋亭稼働率（％）			21.4	19.2	24.0	25.0	27.0	
指標										
他市との比較検証		施設の目的、周辺環境で類似の施設がなく比較が困難である。								
C 事業コスト V		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		4,828	5,004	5,128	5,297	合計	5,128,346円		
	財源	特定財源	818	657	1,000	776	需用費	904,481円		
		一般財源	4,010	4,347	4,128	4,521	役務費	47,778円		
	職員人件費②		1,543	1,549	1,567	1,521	委託料	4,176,087円		
	総事業費（①+②）		6,371	6,553	6,695	6,818				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0		十朋亭使用料				
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			民俗芸能啓発事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的	刈谷市固有の無形民俗文化財の保存・伝承を図ることにより、先人がこれまで培ってきた歴史や文化財を次代に継承する。		主たる内容	指定無形民俗文化財の継承団体が県民俗芸能大会等に出演する経費を補助する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
	対象者	無形民俗文化財保存団体		事業期間	平成22年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体に披露や啓発の募集の情報提供</li> <li>申請の事務補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>11月8日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：ESDユネスコ世界会議併催イベント 開催地：愛知県名古屋市</li> <li>3月1日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：愛知県民俗芸能大会（蒲郡市大会） 開催地：愛知県蒲郡市</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体に披露や啓発の募集の情報提供</li> <li>申請の事務補助</li> <li>11月8日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：第30回国民文化祭・かごしま2015 開催地：鹿児島県始良市</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体に披露や啓発の募集の情報提供</li> <li>申請の事務補助</li> </ul>	
成果		野田雨乞笠おどり保存会が、第30回国民文化祭・かごしま2015に出演することで、愛知県以外でも刈谷市の民俗芸能を伝えることができた。							
課題		無形民俗文化財を披露する機会は限られているため、今後いかに啓発していくかが課題である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		無形民俗文化財の出演団体数（団体）		0	2	1	1	1	
指標									
他市との比較検証		第30回国民文化祭・かごしま2015には、九州地区以外からは刈谷市のみが参加。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	300	1,141	300	合計	1,140,960円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費負担金、補助及び交付金	130,960円	
		一般財源	0	300	1,141	300		1,010,000円	
	職員人件費②		701	634	1,018	380			
	総事業費（①+②）		701	934	2,159	680			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			音楽振興活動補助事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化振興係		
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	活動の支援体制の充実							
	目的	刈谷市文化振興基本計画では、「音楽のあるまちづくり」を掲げており、この施策実現の一翼を担う刈谷音楽協会へ支援することにより、刈谷の音楽文化の更なる発展を図る。				主たる内容	音楽協会の行う演奏会、演奏指導（クリニック）などの事業に支援を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令								
		対象者	刈谷音楽協会			事業期間	平成18年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・7月7日 第9回刈谷音楽祭～日本のメロディ～ ・10月27日 第7回刈谷音楽協会の日		・6月22日 第10回刈谷音楽祭 ・12月6日 第8回音楽協会演奏会		・6月21日 第11回刈谷音楽祭 ・12月5日 第9回音楽協会演奏会		・第12回刈谷音楽祭 ・第10回音楽協会演奏会		
成果		・音楽祭・演奏会という2本の柱を軸に音楽のあるまち刈谷をPRできた。								
課題		・演奏会の開催による音楽のあるまちづくりへの貢献は認められるが、会員数が横ばい傾向であり、新規会員を獲得していく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		協会会員数（人）			70	74	76	78	80	
成果指標		刈谷音楽祭入場者数（人）			695	568	270	600	700	
他市との比較検証		現在、近隣市において、演奏者の協会があるのは岡崎市・安城市のみである。岡崎市の団体は文化協会に所属しており、市から文化協会への活動の支援をしている。安城市では活動に対する補助はしていない。								
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		703	716	440	800	合計	440,230 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	440,230 円		
		一般財源	703	716	440	800				
	職員人件費 ②		1,403	634	705	837				
	総事業費（①+②）		2,106	1,350	1,145	1,637				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			発掘調査出土遺物整理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	住宅建設や宅地造成等に伴う緊急発掘調査や試掘調査により市内の遺跡から出土した埋蔵文化財を整理・保存し、市域の歴史解明の一助とする。	主たる内容	臨時職員により遺跡ごとに遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測等の整理作業を行い、調査成果を広く市民に公開するための作業を行う。 また、年々増加する資料を効率よく収納するとともに収蔵台帳を整備し、専門家の資料調査のニーズに対応する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・半崎貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・刈谷城跡出土遺物（一部） 2次整理（拓本・実測）		・紫雲寺東遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・刈谷城跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測）		・築地貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		・市内遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測）	
成果		・緊急発掘調査を行った築地貝塚をはじめ試掘・確認調査を行った市内各遺跡の出土遺物について、1次整理（洗浄・注記）まではすべて実施することができた。 ・これにより、専門家の資料調査や市民の資料見学に対応するための準備ができた。							
課題		・過去の発掘調査で出土した遺物について、2次整理まで行われていないものが山積みである。また、出土遺物だけでなく記録図面や写真の整理も並行して進め、成果概要としてまとめ保護啓発等に活用できるようにする必要がある。 ・年々増加する出土遺物量に対して、作業場の収蔵スペースが不足している。また、調査成果を市民に公開する展示スペースの確保も必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		1次整理作業実施率（％）		100	100	100	100	100	
活動指標		2次整理作業実施件数（件）		1	1	0	1	2	
他市との比較検証		安城市においては埋蔵文化財センターにおいて基本的に1次整理までは年度内に完了している。また、主な出土品については2次整理まで実施し、翌年度にセンター内の展示コーナーで速報展を開催して発掘調査の成果を市民に公開している。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		3,457	3,462	3,385	3,843	合計	3,384,583 円	
	財源	特定財源	3	76	0	47	賃金	3,264,400 円	
		一般財源	3,454	3,386	3,385	3,796	報償費	28,400 円	
	職員人件費 ②		701	1,408	705	532	旅費	15,740 円	
	総事業費（①+②）		4,158	4,870	4,090	4,375	需用費	76,043 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			史跡めぐり開催事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市民が刈谷の文化財や歴史に触れ、学ぶことができる機会を提供するとともに、刈谷の歴史文化を案内するためのガイドボランティアを育成し、文化財の活用と歴史の啓発を図る。		主たる内容	○年3回、史跡めぐりの開催 ○郷土資料館における見学者案内 ○市内学校の総合的な学習に伴うガイドの派遣				
	位置づけ	関連計画 刈谷市文化振興基本計画 根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成15年度～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B事業 D実績 Oハ 実 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡めぐり案内（年4回：刈谷城、天誅組、小垣江、泉田コース）</li> <li>小学4年生体験学習における案内、説明</li> <li>一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施</li> <li>「刈谷城築城480年記念展」におけるガイド</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡めぐり案内（年4回：元刈谷、天誅組、一ツ木、重原コース）</li> <li>小学3年生体験学習における案内、説明</li> <li>一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施</li> <li>郷土資料館案内補助</li> <li>ボランティア養成講座開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡めぐり案内（年3回：井ヶ谷、まちなか、野田半城土コース）</li> <li>小学3年生体験学習における案内、説明</li> <li>一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施</li> <li>郷土資料館案内補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡めぐり案内（年3回：城下町、東海道、高須コース）</li> <li>小学3年生体験学習における案内、説明</li> <li>一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施</li> <li>郷土資料館案内補助</li> </ul>	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアの会員自身が歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、積極的に向上心をもって活動している結果、依頼者からは好評をいただき、史跡めぐりの参加者アンケート結果からは平均して9割以上から満足との評価を得た。</li> <li>高齢者の社会参加の好ましい例として、内閣府より平成26年度ボランティア活動功労者表彰を受けた。</li> <li>平成26年度にガイドボランティア養成講座を実施したことで新たに5名の会員が加わり、会の活性化を図れた。</li> <li>近年は各コースの駐車スペースが不足しており、従来依頼していた駐車場を確保することが難しくなっている。</li> </ul>						
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標	一般申込によるガイド依頼および小中学校の総合学習支援（件）		50	40	50	50	50		
成果指標	史跡めぐり参加者（人）		280	261	232	240	240		
他市との比較検証	にしお観光ボランティアガイドの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 安城ふるさとガイドの会…モデルコース6コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 知立市観光ボランティアの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 三州高浜鬼みち案内人の会…モデルコース1コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施								
C事業 コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		182	182	182	182	合計	181,998 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	9,998 円	
		一般財源	182	182	182	182	委託料	172,000 円	
	職員人件費 ②		561	563	783	837			
	総事業費（①+②）		743	745	965	1,019			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
	27年度までの累積事業費		0						
	29年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			中条遺跡発掘調査事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	5	2					担当係	文化財係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	中条遺跡の発掘調査で出土した遺物や調査記録を整理し報告書作成のための資料化を行うことで、市域の歴史解明の一助とする。				主たる内容	有識者による非営利団体である刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託して、発掘調査で出土した遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測や調査記録図面・写真の整理・保存を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成9年度 ~ 平成29年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成10・12年度分拓本</li> <li>平成10年度分断面実測</li> <li>平成11年度分遺構図面整理</li> <li>平成11年度分遺構図面トレース</li> <li>平成9・10年度分遺物観察表作成</li> <li>平成11年度分調査記録写真整理</li> <li>金属製品保存処理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成12年度分断面実測</li> <li>平成11年度分遺構図面整理</li> <li>平成11年度分遺構図面トレース</li> <li>平成9・10年度分遺物観察表作成</li> <li>平成11年度分調査記録写真整理</li> <li>金属製品保存処理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成12年度分断面実測</li> <li>平成11年度分遺構図面整理</li> <li>平成11年度分遺構図面トレース</li> <li>平成10年度分遺物観察表作成</li> <li>平成11年度分調査記録写真整理</li> <li>金属製品保存処理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成12年度分断面実測</li> <li>平成12年度分遺構図面整理</li> <li>平成12年度分遺構図面トレース</li> <li>平成11年度分遺物観察表作成</li> <li>平成12年度分調査記録写真整理</li> <li>金属製品保存処理</li> </ul>		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書作成に向けた資料化を計画的に進めるため、作業委託先である刈谷市埋蔵文化財発掘調査会の調査員と各調査年度毎の作業内容・手順を確認できた。</li> </ul>								
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>出土遺物の量が膨大なため整理作業に時間がかかっている。</li> <li>作業に必要な資料をストックしておくスペースが狭く作業効率が悪くなっているが、ハード的な問題で改善できていない。</li> </ul>								
C 事業 コスト 建設 事業	指標名称（単位）		実績値			目標値				
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
	活動指標	平成10年度発掘調査分整理作業進捗率（%）	60	70	80	100	—			
	活動指標	全体整理作業進捗率（%）	80	85	90	95	—			
他市との比較検証	豊田市においては民間業者に委託して実施した発掘調査の場合、翌年度にその整理作業から報告書作成までを同業者に委託して報告書刊行までの期間を短縮する方針で進めている。安城市においては整理作業の民間委託はせず基本的に直営で行うが、発掘調査から3年のうちに報告書を刊行する方針で進めている。いずれの市も埋蔵文化財を担当する正規職員が3~5名いる。									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳				
	事業費 ①	5,000	5,000	3,400	3,400	合計	3,400,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,400,000 円		
		一般財源	5,000	5,000	3,400	3,400				
	職員人件費 ②	1,052	1,056	1,254	1,369					
	総事業費（①+②）	6,052	6,056	4,654	4,769					
建設 事業	全体事業費（単位：千円）	0		27年度特定財源名称						
	27年度までの累積事業費	0								
	29年度以降の事業費見込	0								

会計名			埋蔵文化財発掘調査事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	住宅建設や宅地開発等に伴う緊急対応の発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録保存を行うことで、市域の歴史解明の一助とする。			主たる内容	宅地開発等に伴う緊急対応を行い、発掘調査が必要な案件は刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託して調査を実施する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画			根拠法令	文化財保護法		
	対象者	開発事業者及び市民			事業期間	平成13年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・窓口照会 1009件 ・試掘調査 37件 ・工事立会 17件 ・緊急発掘調査 2件 ・民間建築確認申請における対応件数 63件 未対応件数 124件		・窓口照会 1051件 ・試掘調査 38件 ・工事立会 22件 ・緊急発掘調査 1件 ・民間建築確認申請における対応件数 90件 未対応件数 125件		・窓口照会 1122件 ・試掘調査 35件 ・工事立会 22件 ・緊急発掘調査 3件 ・民間建築確認申請における対応件数 66件 未対応件数 86件		・窓口照会 1000件 ・試掘調査 35件 ・工事立会 20件 ・緊急発掘調査 2件 ・民間建築確認申請における対応件数 80件 未対応件数 100件 ※緊急発生的なものであるため、見込みの数値。	
		成果	・増加傾向にある埋蔵文化財の窓口照会における取扱説明は的確に行うことができた。積極的に事業者へ協力依頼して事前の試掘・確認調査を行ったことで、開発事業が遺跡に及ぼす影響の度合に応じて発掘調査あるいは工事立会など適正な対応をとることができた。緊急発掘調査は、事業者と十分に協議し、最大限可能な範囲での調査面積・調査期間を設け実施し、必要な記録保存を行えた。						
課題		・窓口照会と同様に、民間の審査機関への建築確認申請も増加するなか、埋蔵文化財への対応ができていない事案があったため、開発事業者等に埋蔵文化財の取扱手続の周知を強化していく必要がある。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度
	活動指標	窓口照会件数（件）			1,009	1,051	1,122	1,000	1,000
	成果指標	民間確認申請対応率（%） ＝対応件数/（対応件数＋未対応件数）			33.7	41.9	43.4	44.4	44.4
他市との比較検証	安城市の平成27年度実績は窓口照会512件、試掘・確認調査24件、工事立会40件、発掘調査12件で、窓口照会件数は刈谷市より少ないが文化財保護法に基づく届出件数は69件と多く、多くの緊急調査に対応している。年間約1200万円（国庫補助含む）の事業費を執行する調査体制に加え、ホームページや広報誌への掲載、パンフレット配布等による埋蔵文化財の保護・取扱いに対する周知が刈谷市より進んでいる。								
C 事業コスト	単位：千円	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①	748	573	446	1,215	合計	446,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	446,000円	
		一般財源	748	573	446	1,215			
	職員人件費②	701	1,408	1,175	1,901				
	総事業費（①＋②）	1,449	1,981	1,621	3,116				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	6							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国の登録文化財である刈谷市郷土資料館の適切な施設管理を図る。			主たる内容	○国の登録文化財である郷土資料館の施設管理			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	文化財保護法					
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・指定管理者制度実施		・指定管理者制度実施		・指定管理者制度実施 ・建物1階床下の白蟻駆除		・指定管理者制度実施 ・白蟻被害のあった床下大引の修繕	
成果		・床下の白蟻被害の発見後、速やかに駆除を行ったため、被害を最小限に留めることができた。							
課題		・建物が登録文化財であるため、施設の状態に常に注視し、異常があった場合に速やかに対応する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
成果指標		総入館者数（人）			15,716	12,289	11,910	13,000	14,000
指標									
他市との比較検証		郷土資料館が昭和30年代の展示やイベントを実施するにあたり、参考とした館と入館者数。 ・北名古屋市歴史民俗資料館 年間40,000人							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		16,381	16,526	19,951	23,878	合計	19,951,214 円	
	財源	特定財源	4	7	0	0	役務費	82,239 円	
		一般財源	16,377	16,519	19,951	23,878	委託料	19,868,975 円	
	職員人件費 ②		912	845	1,018	608			
	総事業費（①+②）		17,293	17,371	20,969	24,486			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							



会計名 一般会計			文化財保存管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	5	2					担当係	文化財係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	文化財の修復及び複製を製作することで、文化財の保存を図る。また歴史博物館での展示活用を図る。			主たる内容	市指定文化財をはじめとする、文化財の修復及び刈谷市に関係のある文化財の複製を製作する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成26年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>「津田宣久判物」の修復業務委託</li> <li>「水野忠重画像」の複製製作業務委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「華陽院画像」の複製製作業務委託</li> <li>「伝通院像」（松本市玄向寺所蔵）の複製製作業務委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「伝通院調度品」の複製製作委託</li> <li>「水野忠政画像」（名古屋市博物館所蔵）の複製製作業務委託</li> </ul>		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>「華陽院画像」の複製を製作し、展示公開が可能な状態にした。</li> <li>「伝通院像」の複製を製作し、市民の目に触れることができる状態とした。</li> </ul>								
課題										
成果指標		指標名称（単位）	実績値			目標値				
		25年度	26年度	27年度	28年度	30年度				
成果指標	修復文化財数（点）	0	1	1	0	0				
成果指標	複製製作文化財数（点）	0	1	2	2	0				
他市との比較検証	豊田市では、25年度は2点、26年度は1点、27年度は2点の修復を行った。									
C 事業コスト V	単位：千円	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳				
	事業費 ①	0	1,350	2,256	4,806	合計	2,256,120 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,256,120 円		
		一般財源	0	1,350	2,256	4,806				
	職員人件費 ②	0	106	470	760					
	総事業費（①+②）	0	1,456	2,726	5,566					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		27年度特定財源名称					
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			小堤西池周辺整備事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	5	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落の隣接地を取得し、指定地と一体的な保護保全を図る。	主たる内容	○小堤西池南側土地5筆の取得						
	位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画書							
		根拠法令								
		対象者	土地所有者（3名）	事業期間	平成25年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・用地取得に向けた地権者との交渉		・用地取得に向けた地権者との交渉		・用地取得に向けた地権者との交渉		・用地取得に向けた地権者との交渉		
成果		・用地取得に向け地権者と交渉した。								
課題		・買収に向けての合意形成までには至らなかった。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
成果指標		取得筆数（筆）			0	0	0	0	3	
指標										
他市との比較検証		用地買収はこの自治体でも行われているが、その事案毎に背景が異なるため、一概に比較検討することは難しい。								
C 事業コスト V		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	0	0	合計 0円			
	財源	特定財源	0	0	0	0				
		一般財源	0	0	0	0				
	職員人件費 ②		351	1,408	3,134	0				
	総事業費（①+②）		351	1,408	3,134	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			市史資料整理活用事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	刈谷の歴史に関わる資料の調査・整理を行い、歴史資料の保存と活用を図る。また、資料公開のための準備を進めていく。				主たる内容	○市史だよりの発行 ○市内外における資料の調査 ○刈谷に関する関係資料の収集 ○資料目録の作成 ○資料のマイクロ化			
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画							
		根拠法令	文化財保護法、公文書館法、博物館法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成7年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料調査の実施 5回</li> <li>資料整理の実施</li> <li>新聞データの整理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料調査の実施 5回</li> <li>資料整理の実施</li> <li>新聞データの整理</li> <li>市史だよりの発行</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料調査の実施 5回</li> <li>資料整理の実施</li> <li>新聞データの整理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料調査の実施 5回</li> <li>資料整理の実施</li> <li>新聞データの整理</li> <li>市史だよりの発行</li> </ul>		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料調査によって、新しく発見した資料を収集し、整理できた。</li> <li>整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用し、市民に刈谷の歴史を啓発できた。</li> <li>新聞記事により、刈谷関係および文化財関係記事のデータベース化を行った。</li> </ul>								
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の整理に時間をとられ、資料の分析が十分でなかった。</li> </ul>								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		調査回数（回）			5	5	5	5	5	
活動指標		調査・整理資料点数（点）			300	500	500	500	500	
他市との比較検証		名古屋市と安城市では、市史の刊行は完結し、博物館が必要に応じて調査を実施している。								
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,448	5,205	4,945	5,372	合計	4,945,374 円		
	財源	特定財源	263	206	167	170	賃金	1,749,000 円		
		一般財源	5,185	4,999	4,778	5,202	旅費	58,586 円		
	職員人件費 ②		1,052	1,056	1,175	1,141	需用費	2,980,060 円		
	総事業費（①+②）		6,500	6,261	6,120	6,513	役務費	50,322 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			発掘調査報告書作成事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	平成9～12年度にかけて実施した中条遺跡の発掘調査について、調査年度毎に成果をまとめた報告書を作成することで、その学術的な成果を広く一般公開し、本市の歴史研究の一助とする。	主たる内容	発掘調査で検出した遺構や遺物に関する図版作成と報告書の印刷を行う。 ○27年度：平成9・10年度調査分の図版作成 平成9年度調査分報告書の印刷 ○28年度：平成11年度調査分の図版作成 平成10年度調査分報告書の印刷 ○29年度：平成12年度調査分の図版作成 平成11年度調査分報告書の印刷 ○30年度：平成12年度調査分報告書の印刷					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成27年度～平成30年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		_____		_____		・平成9・10年度調査分図版作成 ・平成9年度調査分報告書印刷		・平成11年度調査分図版作成 ・平成10年度調査分報告書印刷	
成果		・平成9年度調査分の報告書を作成した。							
課題		・作成時期が年度末になってしまったため、年度内の頒布ができなかった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		報告書刊行数（冊）			—	—	1	1	1
成果指標		報告書頒布部数（冊）			—	—	0	30	30
他市との比較検証		安城市と豊田市では、発掘調査後数年の内に報告書を刊行している。 ・安城市の平成27年度報告書刊行数2冊 ・豊田市の平成27年度報告書刊行数6冊							
C 事業コスト		単位：千円	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①	0	0	6,653	5,000	合計	6,653,253 円		
	財源	特定財源	0	0	0	180	需用費	713,253 円	
		一般財源	0	0	6,653	4,820	委託料	5,940,000 円	
	職員人件費②	0	0	2,350	3,042				
	総事業費（①+②）	0	0	9,003	8,042				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			観光用倉庫管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	万燈、山車などを収納する観光用倉庫を適切に管理することで、伝統行事の継承、発展を目指す。	主たる内容	倉庫管理用の名鉄高架下倉庫の借地料、火災保険料及び電気料を支払う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 実施V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>土地借上げ料</li> <li>火災保険料</li> <li>電気料</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>土地借上げ料</li> <li>火災保険料</li> <li>電気料</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>土地借上げ料</li> <li>火災保険料</li> <li>電気料</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>土地借上げ料</li> <li>火災保険料</li> <li>電気料</li> </ul>	
成果		・観光用倉庫を適切に管理することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標									
指標									
他市との比較検証		祭事道具の所有権、大きさの違いなどから他市と単純に比較することは難しい。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,629	1,709	1,695	1,891	合計	1,694,652 円	
	財源	特定財源	278	278	279	289	需用費	65,949 円	
		一般財源	1,351	1,431	1,416	1,602	役務費	16,799 円	
	職員人件費 ②		351	352	783	760	使用料及び賃借料	1,611,904 円	
	総事業費（①+②）		1,980	2,061	2,478	2,651			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 名鉄高架下倉庫等賃借料			
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			万燈祭開催補助事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2					担当係	観光係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	刈谷万燈保存会への補助を通し、万燈祭の保存、継承及び観光の振興による地域活性化を図る。			主たる内容		刈谷万燈保存会の祭り開催に要する経費を補助する。		
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画				根拠法令		
	対象者	刈谷万燈保存会			事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・開催日 7月27日・28日 ・来場者数 100,000人		・開催日 7月26日・27日 ・来場者数 102,000人		・開催日 7月25日・26日 ・来場者数 107,000人		・開催日 7月30日・31日 ・来場者数 108,000人	
		成果	・刈谷市中心部での開催のほか、市内外の他のイベントにも積極的に参加することで、知名度が向上し、刈谷市を代表する祭りとして市内外に認知されるようになってきている。 ・企業も近隣の地区と合同で万燈製作や祭りに参加することで、祭りの活性化及び地域における連帯感の醸成にも繋がっている。						
課題		・開催場所である市内中心部以外についても、認知度を高める必要がある。 ・祭りの一層の活性化及び市内外からの観光客の増加を図るためには、伝統の継承のほか、限られたスペースや時間等の制約の中で、商工会議所や商店街等の既存の地域資源の活用やそれらとの連携のほか、情報発信の充実や効果的なPR手法の採用に取り組む必要がある。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
成果指標	来場者数（人）				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度
指標					100,000	102,000	107,000	108,000	110,000
他市との比較検証	刈谷市独自の祭事であるため比較できない。								
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,280	5,414	5,414	5,414	合計 5,414,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 5,414,000 円		
		一般財源	5,280	5,414	5,414	5,414			
	職員人件費 ②		701	1,408	1,567	1,901			
	総事業費（①+②）		5,981	6,822	6,981	7,315			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			大名行列開催補助事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2					担当係	観光係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	大名行列の保存、継承及び観光の振興を目指すとともに、衣浦定住自立圏共生ビジョンに基づいた大名行列を開催することで圏域のつながりを強める。			主たる内容	刈谷春祭実行委員会の祭り開催に要する経費を補助する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	刈谷春祭実行委員会	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・開催日：5月3日 ・来場者数：約45,000人 刈谷城築城480年記念事業		(非開催年度のため、実績なし)		・開催日：5月3日 ・来場者数：約43,000人		(非開催年度のため、計画なし)	
成果		・地元による伝統行事の開催を支援することにより、保存・継承や地元の歴史PRに繋がった。 ・東浦町於たまつりとも連携し、お互いのイベントへ参加することにより、衣浦定住自立圏域での相互PRに繋がった。							
課題		・開催場所である市内中心部以外では認知度が低い。 ・行事の活性化のため、伝統の継承のほか、限られたスペースや時間等の制約の中で、効果的なPR手法の採用に取り組む必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
成果指標		来場者数（人）			45,000	—	43,000	—	43,000
指標									
他市との比較検証		近隣では、岡崎市、東浦町等で、歴史絵巻行列が開催されているが、歴史背景や規模が異なるため、比較が難しい。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		7,605	0	5,206	0	合計 5,206,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 5,206,000 円		
		一般財源	7,605	0	5,206	0			
	職員人件費 ②		70	0	1,567	0			
	総事業費（①+②）		7,675	0	6,773	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		0					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			観光団体補助事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	観光資源の発掘と活用						
	目的	観光団体への補助を通し、伝統の継承と観光の振興による地域活性化を図る。		主たる内容	野田雨乞笠おどり保存会の祭り開催に要する経費を補助する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	野田雨乞笠おどり保存会		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		・野田雨乞笠おどり 開催日：8月25日 場所：野田八幡宮 来場者数：460人		・野田雨乞笠おどり 開催日：8月24日 場所：野田八幡宮 来場者数：560人		・野田雨乞笠おどり 開催日：8月23日 場所：野田八幡宮 来場者数：560人		・野田雨乞笠おどり 開催日：8月21日 場所：野田八幡宮 来場者数：600人	
成果		・古くから野田地区に伝わる雨乞おどりを観光資源として支援することにより、刈谷市の魅力を高めることができた。 ・300年の歴史があり、市の無形民俗文化財に指定している野田雨乞笠おどりの保存、継承に役立っている。							
課題		・開催場所である市内南部地域以外についても、認知度を高めていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
成果指標		来場者数（人）			460	560	560	600	600
指標									
他市との比較検証		刈谷市独自の祭事であるため比較できない。							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		120	120	120	120	合計		120,000 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金		120,000 円
		一般財源	120	120	120	120			
	職員人件費 ②		351	352	392	380			
	総事業費（①+②）		471	472	512	500			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							



会計名			大名行列道具整備事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	観光資源の発掘と活用							
	目的	大名行列に使用する道具を整備して、祭りを充実させる。	主たる内容	市無形民俗文化財に指定している大名行列「奴のねり」で使用する槍等の道具を修繕する。						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市観光推進基本計画						
			根拠法令							
		対象者	刈谷春祭実行委員会	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		・大鳥毛頭止改修 1箇所 ・槍頭修理 2箇所		・先箱化粧ひも取替え 4本 ・供槍、先中道具頭修理 2箇所		・槍頭修理 10箇所 ・供槍頭修理 2箇所		・大鳥毛頭解体調整修理等		
成果		・祭事での使用に伴い老朽化する道具を修繕することで、「奴のねり」の継承に寄与することができた。								
課題		・特殊な道具であるため、修繕可能な業者が限られる。 ・観光振興よりも文化財の保存、継承といった視点からの修繕が求められている。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
指標										
指標										
他市との比較検証	西尾市に類似行事があるが、それぞれ独自の道具を使用するため比較は難しい。									
C 事業 コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		108	194	86	300	合計	86,400 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	86,400 円		
		一般財源	108	194	86	300				
	職員人件費 ②		351	352	392	380				
	総事業費（①+②）		459	546	478	680				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								